

もくじ

令和6年度総会 … 1
 新年度を迎えて … 1
 事業計画・委員 … 2
 支部長紹介 … 3
 専門部長紹介 … 4
 防災士研修会 … 5
 親子でお茶を … 6
 宮田の昔 ⑤ … 6



宮田学区
 コミュニティ推進会
 第122号
 令和6年6月20日発行
 <発行者> 岩間 廣道
 <編集者> 広 報 部
 <印刷> (有)オーバル
 プリント

定期総会の開催

宮田学区コミュニティ定

期総会が4月21日(日)、宮田交流センター健康増進室において開催されました。コロナが規制緩和されたとはいえ、基本的な感染対策を実施し、運営委員、専門部員、各支部長など54名参

とができました。

総会では、岩間会長の挨拶に始まり、市長祝辞が代読されました。まず令和5年度の事業報告、収支決算報告があり、次に令和6年度の事業計画、予算案が審議され、いずれも原案通り

加のもと、前年度に引き続き開催するこ

可決承認されました。また、岩間会長より令和6年度宮田学区コミュニティ推進会活動方針スローガン「みんなで拓こう、明日につづく道」が読み上げられました。今年度は、役員選考の年にあたり、役員選考委員会を設置し、選考協議を行って役員を選出しました。その結果について選

考委員長より報告がありました。続いて、令和6年度役員、運営委員、専門部長が紹介されました。本年度も皆様のご協力により、無事終了しました。また、議長の北町支部・水庭様、本町支部・佐藤様、審議がすべて終了することができ、感謝申し上げます。

大和田 豊克

令和6年度を迎えて

宮田コミュニティ推進会

会長 岩間 廣道



宮田学区内にお住まいの会員の皆様には、

お元気で過ごさしめることとお喜び申し上げます。

感染症からの呪縛から解放されて約1年、ほっと気持ちいがほぐれた瞬間、本年1月には「能登地震」による被災がフォークラスされるのですから、つくづく「わが国は災害先進国だ」と感じさせられます。昨年9月には、台風による線状降水帯が発生し、日立市役所を中心に大きな水害を受けま

した。会員の皆様には、くれぐれも自分事としての備えを充実させていただきますよう、心からお願いいたします。



さて、当推進会は令和6年度の活動方針を次の通り策定いたしました。

- ① コミュニティの自治、運営が図られるように市とコミュニティの協働による持続可能なまちづくりの構築を目指します。
- ② 近年増えている大きな自然災害の恐ろしさを忘れることなく、共助の精神のもと、防災意識（発災後の対応）の向上と訓練への参加促進を目指し

- ③ 市の福祉関係各課、健康づくり推進課や社会福祉協議会等、各種団体との連携を深めながら「元気な町・宮田」を目指します。
- ④ 将来のコミュニティ活動の担い手となる青少年およびPTAと連携協力し、子どもたちの健全育成を目指します。
- ⑤ 各事業の企画スタッフを幅広く募集し、明るく実のある事業を進めます。

近年、リーダー不足の問題が頻繁に取り上げられています。当推進会でも、子ども会や老人会、町内会の役員、福祉の中核となる民生委員・児童委員などに、なり手不足がクローズアップされ、行き着く先は解散となることを心配する声があちこちから、声高に上がっています。生活環境の多様化ばかりが原因でもなさそうです。自分ファーストの最優先化による「余裕のなさ」なのかも知れません。現在、世の中は働き手優位の「売り手市場」となっています。企業は人材確保に大わらわです。もう少し余裕を持たれて、余人との関わり合いを実践なさって「住みよい町・宮田」にしてみませんか？

◆ 令和6年度 事業計画

月	実施予定日	事業名
5月	11日	土曜学校開設
	12日・16日	日本書記講座
	23日	切り絵教室
	25日	グラウンドゴルフ大会
	26日	ニュースポーツで遊ぼう
6月	1日・8日	宮田小学校花壇整備
	6日・20日	日本書記講座
	8日	防災無線機使用点検
	15日	土曜学校
	20日	宮田まなざし発行(122号)
	21日	親子ふれあい教室
	23日	ニュースポーツで遊ぼう
27日	切り絵教室	
7月	4日・18日	日本書記講座
	10日	防犯講演会
	20日	土曜学校
	20日～31日	ラジオ体操
	21日	ニュースポーツで遊ぼう
	25日	切り絵教室
	27日	宮田元気っ子体験村
8月	1日	日本書記講座
	17日	土曜学校
	22日	切り絵教室
	24日	視察研修
	25日	ニュースポーツで遊ぼう
9月	1日	学区一斉避難行動訓練
	5日・19日	日本書記講座
	7日	親子で折り紙
	13日	親子ふれあい教室
	21日	土曜学校
	22日	ニュースポーツで遊ぼう
	26日	切り絵教室
	28日	合同防災訓練
10月	3日・17日	日本書記講座
	5日	宮田まなざし発行(123号)
	12日	再発見ウォーク
	13日	歴史探訪
	19日	土曜学校
	24日	切り絵教室
	26日	宮田小学校花壇整備
	26日	ニュースポーツの集い
11月	2日	宮田小学校花壇整備
	3日	宮田ふれあいまつり
	7日・21日	日本書記講座
	9日	郷土かるた大会
	16日	土曜学校
	24日	ニュースポーツで遊ぼう
	28日	切り絵教室
30日	クリスマスリースづくり	
12月	5日・19日	日本書記講座
	7日	親子で折り紙
	8日	そば打ち講習会
	8日	かみねレジャーランド 乗り放題券販売
	14日	ジャズを楽しもう
	15日	ニュースポーツで遊ぼう
	17日	郷土かるた大会
	18日	救命講習会
	21日	土曜学校
	21日	正月飾りづくり講習会
26日	切り絵教室	
1月	1日	宮田まなざし発行(124号)
	9日・16日	日本書記講座
	18日	土曜学校

月	実施予定日	事業名
1月	23日	切り絵教室
	25日	まゆ玉飾りづくり
	26日	味噌づくり講習会
	26日	ニュースポーツで遊ぼう
	27日	親子ふれあい教室
2月	6日・20日	日本書記講座
	7日・21日	親子ふれあい教室
	15日	土曜学校
	23日	ニュースポーツで遊ぼう
	27日	切り絵教室
3月	2日・16日	親子でお茶体験
	20日	日本書記講座

◆ 本部・運営委員

役職	氏名	支部名	
会長	岩間 廣道	神田	
副会長	小野崎 照夫	清幡	
コミュニティ会計	浅利 郁夫	生保内	
	奈良 玲子	清幡	
福祉会計	鈴木 一広	清幡	
	前野 教子	東町一区	
支部長	大和田 典義	清幡	
	阿久津 久	生保内	
	船橋 良則	足房	
	水庭 亮三	北町	
	佐藤 裕	本町	
	大和田 元康	神田	
	海老沢 正徳	大平AP	
	小澤 泰男	東町一区	
専門部長	遠藤 利秀	東町二区	
	広報部	阿久津 久	生保内
	生活環境部	山下 泰弘	北町
	青少年育成部	滑川 正之	東町一区
	文化体育部	大和田 豊克	生保内
	防災・防犯部	山本 朝男	生保内
	福祉推進部	岩間 廣道	神田
生涯学習部	小野崎 照夫	清幡	
事務局長	大和田 豊克	生保内	

❖ 不法投棄監視員

- 扇 清光
- 堀江 憲明
- 滑川 和之
- 浅利 郁夫

❖ 消費生活サポーター

- 茂木 順江

❖ 日立市体育振興会

スポーツ推進員

- 吉村 文生
- 佐藤 登喜江

❖ 日立地区体育振興会

理事

- 大和田 豊克
- 比佐 保美

❖ 日立地区体育振興会

地域指導者

- 大和田 常行

❖ 日立市

健康づくり推進員

- 石堂 富男

❖ 日立市土木委員

- 橘 郁夫

❖ 地域福祉推進員

- 小野崎 照夫
- 浅利 郁夫
- 船橋 良則
- 鈴木 一広
- 朽津 美穂

支部長紹介

★東町一区支部

小澤 泰男



支部の役員改選が行われ、引き続きほとんどの方が引き受けられました。

支部活動は、コロナウイルス感染症防止に努めながら盛り上げなければなりません。地域の方が望む活動を模索しつつ、参加者の増加を図ってまいります。

そのためには、一人一人が声をかけ合い、スマホなどを活用して情報を広げていきたいと考えています。

★東町二区支部

遠藤 利秀



当支部には浜の宮公園があり、年2回の除草作業と支部花壇の整備を地域の方々と一緒に進めています。今年の花壇はチューリップの花がたくさん咲き、地域の皆様に喜ばれました。

支部の役員改選が行われ、引き続きほとんどの方が引き受けられました。

昨年支部長紹介で紹介しました「ジャズ講座」を12月に行い、たくさんの方から好評をいただきましたので、今年も開催したいと考えています。

★北町支部

水庭 亮三



毎年度終わりには支部長や専門部員の改選が訪れ、そのたびに悩まされています。

役割は永年担って任を全うできるものであり、当支部ではできるだけ留任を基本として協力してきました。本年度はやむなく部員辞退の方がいましたが、小生はじめ大方の留任が得られましたので、任務を全うしてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

★足房支部

船橋 良則



昨年は学区行事が予定通りに実施され、充実の一年でした。特に「ふれあいまつり」の模擬店は、楽しい町

内会の親睦の場となりました。競技においては、生保内支部との合併、小学1年生と幼稚園児の姉弟、会員の孫さん姉弟の頑張りもあり、よい成果で終えました。

★大平AP支部

海老沢 正徳



昨年度に続き、支部長を務めることになりました。

テレビ鑑賞が好きなので、今年度は多少の経験をしてきましたので、昨年度よりも進んだ活動をしていくことを目標に、この一年間を頑張りたいと思います。

★本町支部

佐藤 裕



当支部も高齢化の波が押し寄せ、毎年町内会からの脱会者が増え、運営が困難な時を迎えています。

今年度は、会員が顔を合わせて懇親を深める場として本町会館下での催事を予定しています。町会に加入してよかったですと感じられる町会運営に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

★神田支部

大和田 元康



町内会を解散し、ふれあいまつりの参加は無理と考え

ていましたが、支部の皆さんの協力により、無事参加することができました。早朝6時30分、顔も名前も話したこともない同士が大規模の脚を支え、互いに声をかけ合いながら組み立てる姿に、思わず胸が熱くなりました。支え合う地域へ、着実に活動を進めていきたいと思っています。

★生保内支部

阿久津 久



久しぶりに支部長になりましたが、町内の様相は一変

して、当時の1割の世帯数になっていました。高齢化による町内からの離脱が主な原因で、現在は2地区3班で31世帯の町内会になっています。

今後の課題は、この小さな町内会をどのように存続させるかであり、何としても宮田コミュニティ推進会とのつながりを維持することを目標に、一丸となっていきたいと思っています。

★清幡支部

大和田 典義



人口減少や少子高齢化、ICTの進化による距離を越

えたコミュニティの形成、ライフスタイルの多様化など、町内会やコミュニティを取り巻く環境が大きく変化しています。

しかし、環境は変われど、防災減災や子どもたちの安全など、地域のつながりが強みを発揮する部分は多くあります。便利な時代になった分、共助のあり方を再考し、持続可能な組織へ。まずは、皆様との交流を通じて勉強してまいります。

専門部の抱負

活動を通して

コミュニケーションを
図りましょう

★生涯学習部

部長 岩間 廣道

「福祉」は、高齢者。「青少年」は、児童。「生活環境」は、生活全般。「防災」は、たびたび起こるものではない。「文化体育」は、健康に体を動かすこと。そして、「生涯学習」は、年齢制限や性差に関係なく、興味があるものがすべて対象になる部門です。

★広報部

部長 阿久津 久

広報誌「宮田まなざし」は、今年度122号から125号までを刊行します。広報誌の役割は、宮田コミュニティ推進会が示した活動方針「みんなで拓こう明日につづく道」に沿って

決定された令和6年度事業計画にある各専門部の事業や特別委員会事業の「宮田元気づ子体験村」、「総合防災訓練」、「宮田ふれあいまつり」をはじめ、日立市初のフルマラソン事業「シーサイドマラソン」などへの参加を宮田学区内に住む皆様に伝え、その事業成果を報告することにあります。

また、日立市立宮田認定こども園、宮田小学校、駒王中学校などの活動の様子を伝え、子どもたちの学んでいる姿を見てもらうとともに、市の事業などの解説等を迅速に伝えることができますよう編集員一同、努力してまいります。

★生活環境部

部長 山下 泰弘

今年度から、生活環境部部長を務めさせていただきまします。まだまだ知識乏しく、不慣れなことばかりで、迷惑をおかけするかも知れませんが、精いっぱい努力と勉強をしてまいります。

さて、今年度の事業としては、引き続き年2回の宮田小学校の花壇整備、蕎麦打ち講習会、味噌作り講習会を企画しています。大和

田前部長の言葉を引き継ぎまして、部のモットーである「Plan(計画)・Do(実行)・Check(確認および評価)・Action(改善)」を胸に、部員の皆さんとともに活動してまいります。

★防災・防犯部

部長 山本 朝男

当部は、地域の防災・防犯のお役に立つことを目的として、総勢14名で今年度の活動をスタートしました。主な事業として、7月10日に日立警察署員による防犯講習会、9月1日に支部ごとの一斉避難行動訓練、9月28日に学区内住民の防災訓練、12月18日に日立消防署による救命講習会を実施します。皆様のご参加と協力をお願いいたします。

元旦の能登半島地震で始まった令和6年。最近の自然界や社会の情勢は、私たちの防災と防犯に対する意識を高めています。

課題は多いですが、近所の助け合い(近助)こそが防災の要と考え、仲間と楽しく活動してまいります。

★青少年育成部

部長 滑川 和之

本年度から青少年育成部部長になりました。よろしくお願いいたします。

本年度育成部の事業は、「親子ふれあい教室」、「ニユースポーツの集い」、「郷土かるた大会」、「まゆ玉飾り作り」、「視察研修」を計画しています。当育成部事業は、すべて親子で参加できるものです。親子でものづくりをしたり、スポーツで汗を流したり、楽しく遊んで思い出になる事業にしていきたいと思えます。

コロナへの対応が緩和されたとはいえ、感染症対策を万全に活動を進めてまいります。皆様のご参加をお待ちしています。

★文化体育部

部長 大和田 豊克

文化体育部の部長を務めさせていただき、3年目になります。今年度は、事務局長とセンター事務長を務めさせていただくことになりました。前年度に続き、さらに迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

★福祉推進部

部長 小野崎 照夫

文化体育部の事業は、昨年と同様の事業を計画しています。年齢に関係なく楽しむことができるニユースポーツ、グラウンドゴルフ、夏休みのラジオ体操などを予定しています。

ぜひ参加していただき、健康増進を図るとともに、地域の方との交流を深めていただければと思います。

また、参加者やボランティアの減少の対応を早急にします。広報誌や部員等によるお願い、現在参加されている方の友達紹介などを実施していきます。「あんしん・安全ネットワーク事業」については、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、地域住民との連携を密に進めています。すべての事業を実施することは大変ですが、実施方法や集約等を検討しながら進めてまいります。皆様の協力をお願いいたします。

ひたち防災ネットワーク キックオフ研修会

宮田コミュニティ推進会

防災士 岩間 廣道

2月3日(土)、日立市で初めての防災士研修会が実施されました。ご存知の通り、県内では「いばらき防災大学」と並び「日立市」の2施設だけが防災士を育成・誕生させられる場所です。その数、令和6年1月末現在で335名、うち173名がネットワークに加入しています。

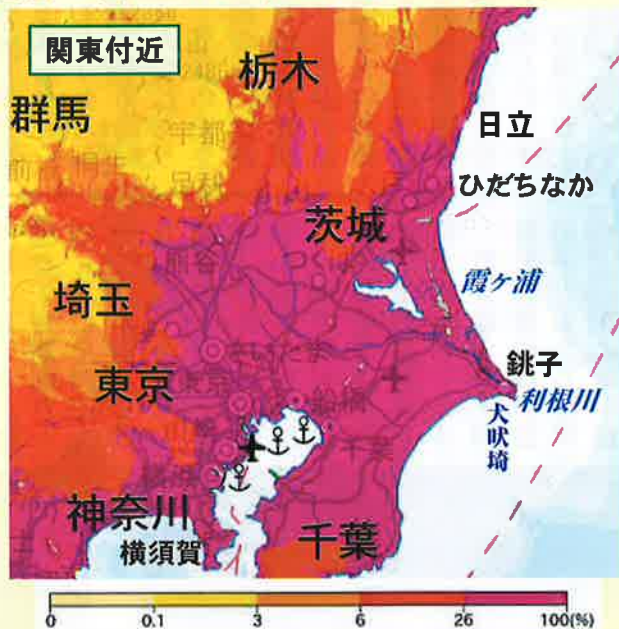
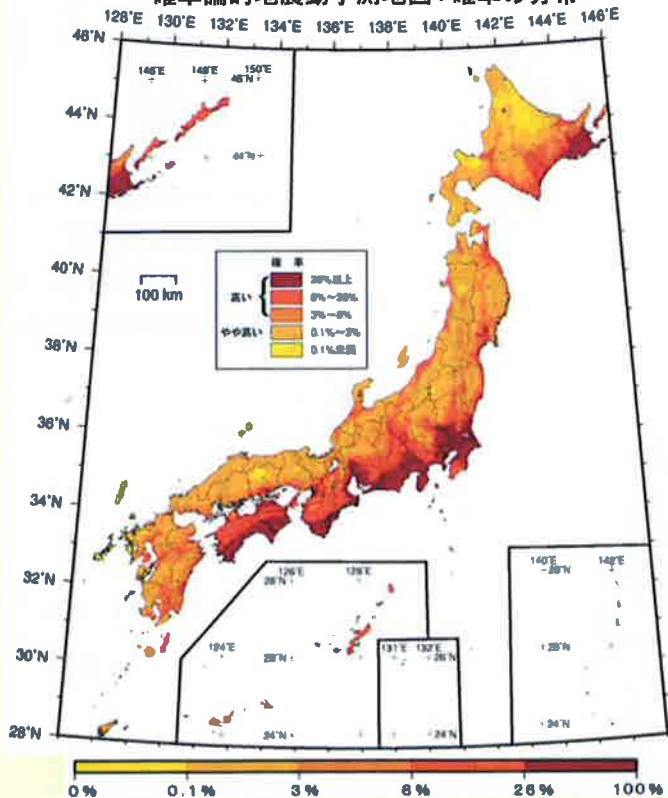
この研修会には、気象予報士で防災士の福島アダム氏を講師に迎えて開催されました。水災害・土砂災害からスタートし、昨年9月に浸水禍を受けた市庁舎にも触れながら、風水害の気象情報や避難情報発令基準についての講義が続きました。

防災訓練の推進では、自主防災組織と小・中学校の連携が令和3年度では4学区、令和4年度には11学区でなされました。宮田学区では、昨年度までは連携して実施されましたが、今年度からは小・中学校は自由参加となる予定とのこと、一抹の不安を感じます。

最後は、能登地震の衝撃も鮮明に思い出させる話で「地震ハザードカルテ」によると、今後30年間「震度6弱以上の確率は、日立市神峰町で50・9%」だそうです。備えを忘れずに過ごしましょう。

今後30年間、「震度6弱」以上が起こる確率

確率的地震動予測地図：確率の分布



**日立市神峰町の確率は
50.9%**
(震度5弱以上は100%)

宮田 元気っ子体験村

宮田小学校の4～6年生を対象に
男女40名を募集します

〈期日〉 7月27日(土曜日)
〈会場〉 宮田交流センター

合同防災訓練

〈期日〉 9月28日(土曜日)
〈会場〉 宮田小学校 校庭

宮田ふれあいまつり

〈期日〉 11月3日(日曜日)
〈会場〉 宮田小学校 校庭

*各支部の模擬店出店などにご協力をお願いします。

ひたちシーサイドマラソン

日立市初のフルマラソン (公認コース)

〈期日〉 11月17日(日曜日)
〈スタート〉 日立市市民運動公園

「親子でお茶体験」を開催

―作法を学び、お茶の魅力を知る―

3月3日(日)、巷では桃の花の香りと雛飾りのあでやかさに、春の暖かい陽射しも相まって世の奥様方がウキウキはじめる候、宮田小学校児童とその保護者を対象に「親子でお茶体験」を実施しました。

開催の理由は、何かと忙しい昨今、親子が揃ってゆつくりとお茶を嗜むのも、それほど多くはないのではとの気持ちからと、お茶の魅力を知ってほしいという意図からです。

当日は、講師の方から簡



単に作法のレクチャーを受けた後、いよいよ本番開始です。保護者からわが子へ、湯飲み茶碗の中で茶筌が踊り回ります。

「まずはお菓子をどうぞ」という保護者の声に、緊張して頬張る子どもたち。お菓子の甘味に自然と笑みがこぼれます。次は「抹茶体験」です。口に含んだ途端、少し歪んだ顔になり、それでも「結構なお点前です」の言葉に、保護者にも笑顔が浮かび上がりました。

次は、わが子から保護者へ。不安そうに待つ親の皆さんではありましたが、講師の先生方の指導のおかげなのか、無事に飲み終えま

した。感想を聞くと「お菓子がおいしかった」とのこと。終了後の報告では、お菓子がひとつ少なかったらしいです。子どもは、お菓子が大好きでした。

部長 岩間 廣道

生涯学習部

写真で見る 宮田の昔⑤

『日立音頭』

『日立小唄』発表会

海と山に恵まれた工都日立を象徴するにふさわしく、

広く親しまれて歌われるよう歌詞を日立市観光協会が募集することになったのは、昭和32年3月のことです。フランク永井が歌った『有楽町で逢いましょう』を作詞した佐伯孝夫と作曲した吉田 正が審査員でした。

優秀当選者となつたのは、市内に住む矢内道則さん。そしてこの詞に吉田 正が曲をつけた『日立音頭』と、佐伯孝夫作詞・吉田 正作曲の『日立小唄』が11月23日、市の秋の文化祭において「共楽館」でお披露目されました。



写真は、宮田新町と加性の商店会の子どもたちが、吉田 正と歌手に花束贈呈した後、

記念撮影したものです。写真の裏面には「矢内道則・吉田 正先生・曾根史郎・野村雪子・中原淳子・神楽坂浮子・司会者」と書き込みがありました。この写真を提供してくださった瀬川まり子さんは、前列右から2番目で、当時大雄院小学校に通っていました。翌33年2月には、レコー

ドが発売されます。日立音頭の『ハア―イーヨ 一度くる人―一度になる 三度くるときや住みに来る』と歌つたのは三浦洗一と藤本三三代で、日立小唄は神楽坂浮子でした。神楽坂浮子はこの年、NHK紅白歌合戦に出場しています。大日立市が誕生してわずか2年。この発表会は周辺町村の人々を「日立市民」として一つにする役割を担ったのでしよう。

日立市郷土博物館 研究員 萩原 明子

編集後記

- ▼『宮田まなざし』第12号をお届けします。
- ▼令和6年度を迎え、新たな指標「元気な町・宮田」「住みよい町・宮田」が提言されました。
- ▼活動方針として、市とコミュニティの協働、防災意識の向上、青少年とPTAの連携協力などがあります。
- ▼その中でも驚いたのが、ひたち防災ネットワークによる「今後30年間で震度6弱以上の起こる確率が、私たちの神峰町で50・9%」という発表です。〈土龍〉